

11月11日(土) 南魚沼市交流大使の楽亭じゅげむさんによる親子落語教室を開催しました



南魚沼市図書館で、南魚沼市交流大使の楽亭じゅげむさんを講師に招き、小学生以上の子どもとその保護者を対象に、親子落語教室を開催しました。楽亭じゅげむさんは京都府出身の落語教育家で、落語で参加者自身の個性を引き出す教育者として活動され、市内の小学校でも授業を行っています。

今回は、身近な話を例に使い、落語に大切な4つの要素「想像」「会話」「くすぐり・おち」「おっちょこちょい」をわかりやすく説明していただきました。参加者は、親子で簡単な落語を身振り手振りを使って演じ、興味を深め、楽しんでいました。

11月11日(土)・12日(日) 魚沼ほろ酔い祭りin浦佐が開催されました



JR浦佐駅と駅西口の特設会場で、「魚沼ほろ酔い祭りin浦佐」が開催され、約8,500人が来場しました。

駅1階のメインエリアでは、魚沼地域の9酒蔵による地酒の試飲や販売が行われ、来場した人たちは香りや味を堪能していました。ほかにも、駅2階では各種ワークショップ、駅西口特設会場ではさまざまな料理や地元産のアルコール飲料などの提供が行われ、大人から子どもまで多くの人で賑わいました。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~boast of my country~

シリーズ 第129回

ブラジル連邦共和国 マリアナ ボージェス ピンゲリ さん



私の国はこんなところ

ブラジルは「サビアのさえずる国」と称されるほど、国内全域で身近にサビア（ツグミ科の鳥、国鳥）が住み、美しいさえずりが響き渡っています。現在、人口は2億1,400万人を誇ります。熱帯雨林、イグアス国立公園、国技カポエイラなど多くのユネスコ世界遺産があり、新・世界七不思議の1つとされる巨大な「キリスト像」もあります。

“他では見ることのできない美しさを見ることなく、サビアが歌うヤシの木を見ることなく、私が帰る前に死ぬことを、神がお許しになりませんように。”（詩人 ゴンサルヴェス・ディアス 作）

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼に来て、八海山に登ったこと

ことが1番の思い出です。また、おいしいお好み焼きやカツ丼の発見もありました。浦佐裸押し合い大祭や、スキー、スノーボードで訪れたスキー場もすばらしかったです。国際大学は、山が見える図書館や雪景色、桜並木など、四季を通して居心地がとてもいいです。学生、職員、そして私が出会ったすべての南魚沼の人々はいつも親切です。南魚沼は優しさ、平和、お米にあふれています！



編集後記

あけましておめでとうございます。みなさん、「新潟ふるさとCM大賞」をご存じですか。県内の市町村が、さまざまなテーマで30秒のCMを撮影し参加しています。審査会の様子が1月2日(火)に放映されます。ぜひ、ご覧ください。(M・H)

今月の表紙

11月初旬に魚沼スカイラインから撮影した、日の出の光が市内を照らし、明るい未来への希望を感じる1枚です。本年も「市報みなみ魚沼」をよろしくお願いします。(魚沼スカイラインは全区間、令和5年11月15日から冬季通行止めです)

市民の動き 令和5年11月末日現在 ()は対前月比

●人口 53,331人(-90) / 男 26,101人(-40) 女 27,230人(-50) ●世帯数 20,370 (-23)